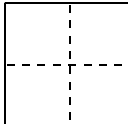
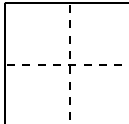
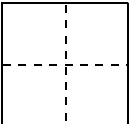
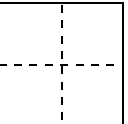
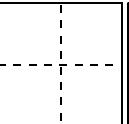
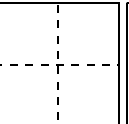
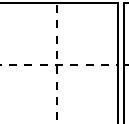
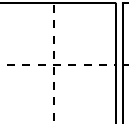
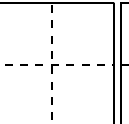
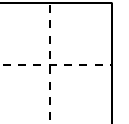


めあて がくしゅうした ひらがなを かけるように しよう。

一 つぎの 五十音ひょうの うち 1 から 10 に あてはまる
ひらがなを  に かきましよう。

10	わ	ら	8	ま	は	な	た	さ	3	あ
		9		み	ひ	に	ち	し	き	1
		る	ゆ	む	ふ	6	つ	4	く	う
		れ		7	へ	ね	て	せ	け	え
	を	ろ	よ	も	ほ	の	5	そ	こ	2

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
									

※つぎの ページにも もんだいが あります。

めあて がくしゅうした ひらがなを つかって いろいろな ぶんを かこう。

二 つぎの えを みて、 に ひらがなを かいて
 ぶんを つくりましょう。 ぶんの おわりには、「。」を
 かきましょう。



た

を

う
 う



か

を

さ



む

を

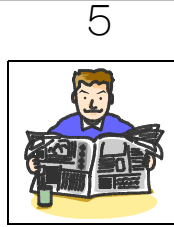
つ
 える



で

を

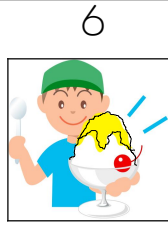
か
 る



ん

を

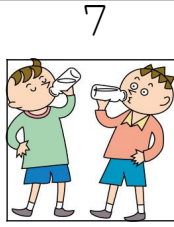
よ



か
 き

を

た
 る



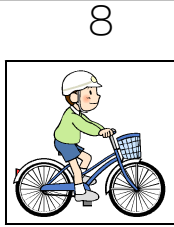
う

ゆ

う

を

む



じ

し

に

の

めあて じゅんじょに 気を つけて 文しようにを 読もう。

一 つぎの 「たんぽぽ」という 文しようにを 読んで、あとの 問題に こたえましょう。

花を よく 見て みましょう。

一つの 花のように 見えるのは、小さな 花の あつまりなのです。小さな 花を 数えて みたら、百八十も ありました。これより 多い ものも、少ない ものも あります。この 小さな 花に、みが 一つずつ できるようになっ ています。

花が しぼむと、みが そだって いきます。みが じゆくすまで、花の くきは、 ひくく たおれて います。

みが じゆくして たねが できると、くきは おき上がって、たかく のびます。 はれた 日に、 わた毛が ひらきます。たかく のびた くきの 上の わた毛には、風が よく 当たります。わた毛は、風に ふきとばされます。かるくて ふわふわした わた毛は、風に のって、とおくに 行く ことができます。

「たんぽぽ」ひらやま かずこ より (平成三十一年度 東京書籍)



1 たんぽぽの わた毛が ひらく までの ようすに ついて、どのような じゅんじょで 書かれて いますか。

つぎの **ア**から**エ**を ならべかえて、きこうで こたえましょう。

- ア** みが そだつ。
- イ** 花が しぼむ。
- ウ** たねが できる。
- エ** みが じゆくす。

↓

↓

↓

※つぎのページにも問題があります。

めあて 聞く人に わかりやすい じゅんじよで せつめいしよう。

二 上田さんは、絵のかき方を つぎのように せつめいしました。 つぎの文しよを 読んで、あとの 問題に こたえましよう。

へ上田さんのせつめいへ

くしだんこの 絵のかき方を せつめいします。

はじめに、さらを かきます。大きい 丸を かいて ください。

つぎに、だんごを かきます。大きい 丸の中に、小さい

丸を 三つ、たてに ならべて かいて ください。

さいごに、だんごに ささった くしを かきます。

上から 三つ目の 丸の下に、みじかい たての 線を

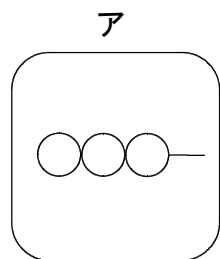
かいて ください。

これで くしだんこの 絵の できあがりです。

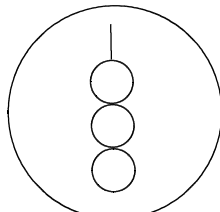
「ことばで 絵をつたえよう」より (平成三十一年度 東京書籍)



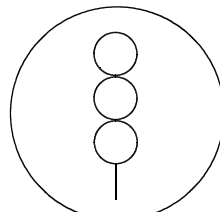
1 上田さんが せつめいしている じゅんじよで かくと どのような えになりますか。 つぎの アからエまでの 中から えらびましよう。



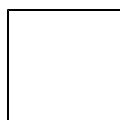
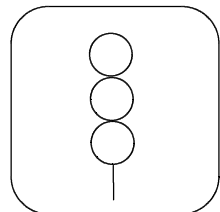
イ



ウ



エ



めあて 学習した 漢字を 読んだり 書いたり できる ように しよう。

三 つぎの 線部の 漢字の 正しい読み方を、ひらがなで 書きましよう。

1 妹と あそぶ。

2 図を かく。

3 汽車に のる。

4 ひもを 切る。

5 高い 山。

四 つぎの 線部の カタカナを、漢字で ていねいに 書きましよう。

1 カイがらを とる。

2 ムシを さがす。

3 テを あらう。

4 はりと イト。

5 丸い ツキ。

めあて だん落とだん落との関係に気をつけて読もう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

① お母さんのおちち(ミルク)をのんで、大きくなる動物のことを、ほにゆう動物といえます。犬やねこ、牛、イルカなど、いろいろな動物がいます。わたしたち人間も、同じほにゆう動物のなかまです。

② ほにゆう動物の赤ちゃんは、ほかの動物からミルクをもらうことはめったにありませんが、①人間の赤ちゃんは、お母さんのミルクのほかに、いろいろな動物のミルクをのみます。

③ 人間にミルクをくれる動物は、牛のほかに、やぎ、らくだ、馬、トナカイなどがあります。

④ みなさんは、これらの動物のミルクが②さまざまな物に変身することを知っていますか。ミルクはどんなミラクル(ふしぎなこと)をおこなっているのでしょうか。

⑤ まず、一つめのミラクルは、ヨーグルトへの変身です。動物のミルクを利用しはじめたのは、今のエジプトの近くにすむ人たちです。この地方では、暑いときには日中の気温が五十度近くにもなります。ここにミルクをおきっぱなしにすると、いろいろな菌が空気中からとびこんできて、どんどんふえていきます。このとき、ミルクの中に、にゆうさん菌という菌が入ると、ミルクは変身をはじめます。それまで、水のようにさらっとしていたミルクが、だんだんどろっとしてきます。食べてみると、少しすっぱいあじになります。これが「ヨーグルト」です。ヨーグルトは、人間がミルクから作り出したさいしょの食べ物だといわれています。多くは、牛のミルクから作りますが、国によってらくだややぎのミルクから作ります。

「ミラクル ミルク」より(平成三十一年度 学校図書)

1 線①「人間の赤ちゃんは、お母さんのミルクのほかに、いろいろな動物のミルクをのみます」とありますが、どのような動物のミルクを飲みますか。「くやくなど」となるように、文中に出てくる動物から二つえらんで書きましょう。

や

など

※つぎのページにも問題があります。

2 **4** のだん落のはたらきとしてふさわしいものを、次の**ア**から**エ**までの中からえらんで、記号を書きましよう。

- ア** かんそうをつたえる
イ といをつたえる
ウ といの答えをつたえる
エ れいをつたえる

3 — 線②「さまざまな物に变身する」とありますが、何に变身しますか。文中に出てくる物を書きましよう。

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次 の — 線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなでいいに書きましよう。

1 まどを開ける。

2 文で書き表す。

3 言葉の意味を考える。

4 答えを予想する。

5 元気に返事をする。

三 次 の — 線部のカタカナを、漢字でいいに書きましよう。

1 かねをナらす。

2 みんなでウタう。

3 トオくの店に行く。

4 ホシゾラをながめる。

5 カオをあらう。

めあて 説明のまとまりを見つけないで読む。

一 谷口さんは、「ヤドカリとイソギンチャクのみみつ」について調べ、学級の人々に知らせることにしました。次は、ヤドカリとイソギンチャクのみみつを調べるために谷口さんが見つけた【文章】と、谷口さんが学級の人々に知らせたいことについて、まとめた【ノートの一部】です。これをよく読んで、あとの問題に答えましょう。

【文章】 段落のはじめにある丸数字は、その段落の番号を示しています。

① (省略) ② なぜ、ヤドカリは、いくつものイソギンチャクを貝がらに付けているのでしょうか。

③ このことを調べるために、次のような実験をしました。まず、おなかをすかせたタコのいる水そうに、イソギンチャクを付けていないヤドカリを放します。タコはヤドカリが好物なので、長いあしですぐヤドカリをつかまえ、貝がらをかみくだいて食べてしまいます。

④ 次に、イソギンチャクを付けているヤドカリを入れてみます。タコは、ヤドカリをとらえようとしてしきりにあしをのびしますが、イソギンチャクにふれそうになると、あわててあしを引っこめてしまいます。ヤドカリが近づくと、タコは後ずさりしたり、水そうの中をにげ回ったりします。

⑤ 実は、イソギンチャクのしよく手は、何かがふれるとはりが飛び出す仕組みになっています。そのはりで、魚やエビをしびれさせて、えさにするのです。タコや魚はこのことをよく知っていて、イソギンチャクに近づこうとはしません。それで、ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝がらに付けることで、敵から身を守ることができるのです。

⑥ では、ヤドカリは、石に付いたイソギンチャクを、どうやって自分の貝がらにうつすのでしょうか。ヤドカリが、イソギンチャクのはりでさされることはないのでしょうか。

⑦ ヤドカリとイソギンチャクの関係を研究しているカナダのロス博士は、ヤドカリとイソギンチャクがどのようにしていっしょになるのか、水そうで観察しました。

⑧ ソメンヤドカリを飼っている水そうに、石などに付いたベニヒモイソギンチャクを入れます。ヤドカリは、自分の貝がらにイソギンチャクを付けていても、イソギンチャクを見れば、いくつでもほしくなるようです。すぐ近づいてきて、あしを使ってイソギンチャクの体をついたり、両方のはさみで引っぱったりして、イソギンチャクをはがしてしまいます。そして、かかえるようにして自分の貝がらの上におし付けるのです。ずいぶん手あな方法に見えますが、イソギンチャクはしよく手をのびしたままで、いかにも気持ちよさそうに見えます。はりも飛び出しません。(文章が続く)

「ヤドカリとイソギンチャク」武田正倫 より (平成三十一年度 東京書籍)

【ノートの一部】

【ひみつ①】ヤドカリが、イソギンチャクを貝がらに付けている理由

【答え】

ア

【ひみつ②】ヤドカリとイソギンチャクがいっしょになる方法

【答え】ヤドカリは、自分の貝がらの上にイソギンチャクをおし付ける。

※次のページにも問題があります。

【一部】の **ア** に入る内容を次の【じょうけん】に合わせて書きましょう。

○【文章】の中の言葉をとり上げて書くこと。

○ 十五字以上、二〇字以内にまとめて書くこと。（句点「。」は字数にふくみません）

[illegible]

2 谷口さんが、【ノートの一部】にまとめた「ヤドカリとイソギンチャクがいつしよになる方法」の答えは、【文章】のどの段落を中心に読めば分かりますか。最もふさわしい段落を、①から⑧までの中から一つえらんで、その番号を書きましよう。

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二次の——線部の漢字の正しい読み方を、ひらがなでいねいに書きましよう。

次の――線部のカタカナを、漢字で
ていねいに書きましよう。

めあて 筆者の伝えたいことをまとめよう。

一 横山さんの学級では、「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」という説明文を読んで、筆者の伝えたいことについて話し合っています。次は【説明文の一部】と【話し合いの様子の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【説明文の一部】

動物たちは海の中で何を見て、どんなことを考えて日々くらししているのだろうか。あたりまえのことだが、動物たちはすでに答えを知っている。どうしてもそれを知りたい研究者たちは、新しい手法を考案した。動物にデータロガーという小型の記録計を取り付けて、わたしたちが観察できない海中の行動を、動物たちに直接教えてもらうのだ。動物が自分の行動データを取ってくるこのやり方には、「バイオロギング」という名前が付いている。「バイオロギング」とは、「生物が（バイオ）記録する（ロギング）」という意味である。

マッコウクジラに取り付けた装置には、クジラの動きがくわしく記録されていた。マッコウクジラは、千メートル以上の深さまでもぐっていた。そのときの泳ぐ速さは、時速五・ハキロメートルだった。体重十トンを超えるマッコウクジラは、ペンギンやアザラシよりもはるかに大きいから、もっと速く泳ぐと思っていたが、ペンギンやアザラシと同じような速さで泳いでいた。

（中略）

バイオロギングで調べてみると、海の中でくらす動物たちは、おどろくほど深く長くもぐることができる一方で、意外とゆっくり泳いでいた。その理由を調べてみると、その行動には意味があることが分かってきた。深いところにいるえさをとるために、深く長くもぐる能力を身につけ、つかれることなく泳ぎ続けられるようによい速さを選んでいったのだ。それぞれの生息環境に合わせ、日々のくらしぶりをくふうし続けた結果、こんなにも多くの動物たちが海で進化してきたのだろう。

これから動物に取り付ける記録計は年々改良されて、どんどん小さくなっていくはずだ。より小型の動物まで調査の対象が広がり、予想もしなかった動物たちのくらしぶりが見えてくると、知りたいことはさらに増えていくだろう。この先、バイオロギングによって、どんなデータが得られるようになるのだろうか。動物たちから学べることは、まだまだたくさん残されている。

「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」佐藤克文 より（平成三十一年度 東京書籍）

【話し合いの様子の一部】

横山 動物に取り付ける記録計が改良されて小さくなっていくと、より小型の動物まで調査できるようになるのはすごいね。

原 そうだね。筆者の言うとおり、①が見えると、

②が増えそうだね。

田中 「動物たちから学べること」にはどのようなことがあるんだろう。

※次のページにも問題があります。

しさい。

○ 「海の中でくらす動物たち」という言葉を使うこと。
三十以上、四十五字以内にまとめて書くこと。

[illegible]

②

①

が見えろと

10

②

が増えそうだね。

6

めあて

二 次 の 線 部 の 漢 字 の 正 し い 読 み 方 を
ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 自分のセキに着く。

2 鳥が空をトぶ。

3 足にホウタイをまく。

4 家でリヨウリする。

5 ギフ県の夏は暑い。

めあて 論の進め方をとらえながら読もう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

イースター島から森林が失われた大きな原因は、この島に上陸して生活を始めた人々が、さまざまな目的で森林を切り開いたことである。

①、農地にするために森林が切り開かれた。

安定した食りよう生産を行うためには、農作物をさいばいするための農地を開くしなければならぬ。「花粉分析」の結果、島の堆積物の中にふくまれる樹木の花粉が時代とともにしだいに減少したことが明らかになっている。

次いで、丸木船を作るために、森林から太い木が切り出された。

イースター島が緑の森林におおわれていたころ、森林には丸木船を作るのに十分な太さのヤシの木がたくさん生えていた。その木を切りたおして作った丸木船をこいで、島の漁師たちは、サメなどの大きな魚をとらえていたのである。また、島に住む人々は、この丸木船に乗って、島から四百キロメートルもはなれた無人島まで行き、そこに生息する無尽蔵ともいえる海鳥をとらえて食りようにすることもできた。

②、食りよう生産との関わりが深いこれらの目的に加え、宗教的・文化的な目的でも森林が伐採された。イースター島では、祖先を敬うために、火山岩の巨石に彫刻をほどこす宗教文化、すなわち、モアイ像の製作がさかんになった。

モアイ像は、高さが三メートルから十メートルもあり、重さは三トンから十トンにもおよぶ。中には、高さ二十メートル、重さ五十トンに達するものまである。

モアイ像は、島の石切り場から切り出された巨大な火山岩を、のみでけずって作られる。そして、ときには十数キロメートルもはなれた所まで運ばれ、てこを用いて立てられた。このモアイ像を、石切り場から運ぶために森林がぎせいとなった。重さが何トンもある巨大な像を運んでゆくのに、森林から切り出された木が利用されたのである。

イースター島では、豊かな森林の恩恵を受けて、高度な技術をほこる巨石文化が栄えた。西暦一五〇〇年ごろには、人口は七千人に達していたと推定されている。

※堆積物：風や水などに運ばれて積もった土や砂。

「イースター島にはなぜ森林がないのか」驚谷いづみ より(平成三十一年度 東京書籍)

※次のページにも問題があります。

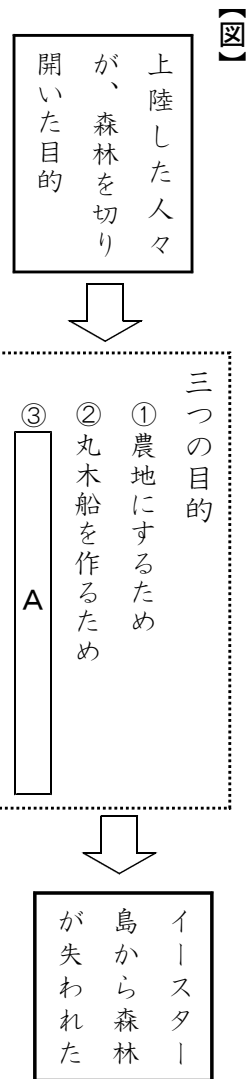
1 ①、②に入る言葉をアからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

ア しかし イ さらに ウ まず エ つまり

①

②

2 山川さんは、この文章を次の【図】のようにノートにまとめることにしました。島から森林が失われた原因について、次の【図】のAに入る言葉を文章中から十字以内で書きぬきましよう。



A

10

3 — 線部「モアイ像の製作」とありますが、本文中にモアイ像の製作の仕方が書かれている文があります。その文の最初の五文字と、最後の五文字を書きぬきましよう。なお、句点（。）も字数にふくみます。

）

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を、三 次の——線部のカタカナを、漢字でひらがなでていねいに書きましよう。

1 雑草を除く。

1 土地をタガヤす。

2 呼吸を整える。

2 図工でハンガを学ぶ。

3 降雨量を予測する。

3 ゼッケイに感動する。

4 簡潔に話す。

4 台風にソナえる。

5 資料が所蔵されている。

5 当たるカクリツが高い。